

福祉交通 WS「みんなでつくる福祉交通」開催報告

【第1回】「移動制約者の移動支援」平成28年8月6日（土）10：00～

@市役所第1・2会議室

参加者：2名

（参加者少数につき、事務局との対話形式で実施）

主な意見等

①移動について困っていること

- ・（介護タクシー事業者に）タクシー券が使えないかという問合せが多い。
- ・福祉有償運送の（介護の）スキルが低い。
- ・福祉有償運送のサービス内容について、直接事業者聞くまで具体的なところがわからない
- ・国立市の福祉（施策）のレベルが他と比較しても低い

②どんな移動手段があったらいいか

- ・呼んだらすぐに細い道でも迎えに来てくれるサービス
- ・市で福祉有償運送の運転者の介助技能向上の方策は取れないか
- ・要介護者は通院等乗降介助の給付事業があるが、要支援者にはないので、要支援者が利用できる安価なサービスが必要では

③その他

- ・地域包括支援センター同士の連携や活用は考えられないのか。
- ・福祉関係の条例が毎年制定・改正されているが、作りっぱなしになっていないか。
- ・行政と市民の思いがすれ違ってしまっている。
- ・ワークショップの参加者が少ない。行政の自己満足に陥っているのでは。
- ・地域公共交通会議の委員が実際にバスに乗らないで議論をしているのはおかしいのではないか。
- ・福祉施策に関して、庁内の連携が悪く、考えを共有できていないから効果的な仕組みづくりができていないのでは。

【第2回】「住民主体の地域交通」平成28年8月6日（土）14：00～

@南市民プラザ多目的ホール

参加者：8名（2班に分かれて実施）

主な意見等

①移動について困っていること

- ・車道・歩道が狭い（多数）

- ・坂がきつい、ハケや階段を自転車で押して上がるのが大変（多数）
- ・駐輪場・駐車場が少ない
- ・タクシーを呼んでも来てくれない（谷保地域）
- ・交通手段についての情報が不足している（どこにどういう事業者があるのか、タクシーの種類など）
- ・歩道の段差やグレーチング等により車椅子で通行しにくい
- ・高齢になると自動車・自転車を運転できない
- ・退院直後の一人暮らしのときに買い物や役所へ行けない
- ・タクシー費用がかさむ、タクシー券が使えない介護タクシーがある
- ・バス停にベンチや日よけがない
- ・バス停まで歩いていくのがおっくう
- ・バスの乗降に時間がかかり、バツが悪い
- ・階段が下りられない
- ・ベビーカーを利用した移動が大変（特に上の子がいる場合）
- ・介護タクシーの介護サポートに不安
- ・南部地域から駅までのアクセスが悪い
- ・駅前のバス乗り場がわかりにくい
- ・くにっこの時刻表がアプリに出てこない
- ・保育園の送迎が大変
- ・自動車の速度が高い
- ・支える組織（自治会）が希薄

②どんな移動手段があったらいいか

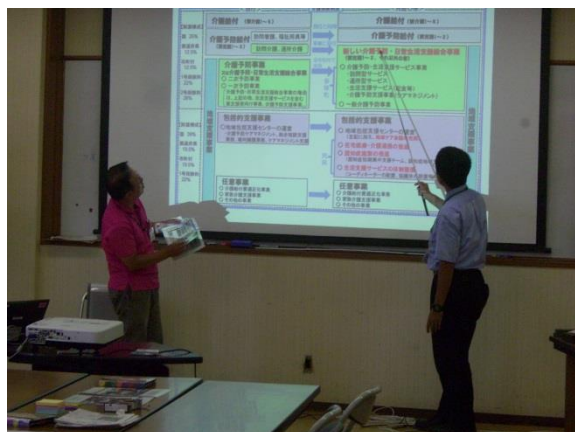
- ・転ばない自転車
- ・オンデマンド
- ・小さな車による乗り合い
- ・シルバーパスでくにっこミニに乗れる
- ・ベロタクシー、人力車の導入
- ・住民主体のボランティア車両による訪問型サービス D の活用
- ・情報提供の工夫（地域包括支援センター、民生委員等の活用）
- ・バス停にシェアサイクルのポートを設置

アンケート自由記述欄より

- ・ワークショップではゆるい「交通」であったが、資料は住民主体の事例のみだったので、少しずれている気がします
- ・南部地域に限定し、ワークショップの実施を希望します。

- ・各自治会にも呼びかけ、くにっこミニが継続して運行できるように努力したいと思う
- ・ワークショップを無理にまとめる必要はないのでは。まずはひざ詰めで話して問題を整理することも重要
- ・参加者を増やす工夫が必要と感じた
- ・もう少し人数が集まるよう、呼びかけが必要だと思いました
- ・要介護1・2の方で、外出に困っていることが多いようですが、通院等乗降介助を使えば通院等は可能です。

【当日の様子】



【今後の予定】

- ・地域公共交通会議及び福祉交通検討部会に報告
- ・福祉交通検討部会において、福祉交通の方向性についてとりまとめ
- ・10/6に国立市ケアマネ部会が開催となるので、その場でケアマネと福祉的な交通について意見交換を行う予定
- ・今回のワークショップやパブリックコメント及び上記意見交換会の意見等をふまえ、平成28年度中に福祉的な交通の方向性を示す